

歴史の道ふれあい遊歩道整備事業 (麻績村)

歴史の道
ふれあい遊歩道整備事業
麻績村

1

麻績に明治時代の石積み堰堤が

- ・平成18年に県の犀川砂防事務所が現地調査を行い、芦沢川支流に石積み堰堤の存在が確認される。
- ・かつて土木を管轄した内務省の記録から、明治20(1887)年頃に建設されたものと判明。
- ・この堰堤の存在は、それまで村内でも殆ど知られておらず、今まで埋もれていた財産であった。
- ・貴重な村の財産として国の登録有形文化財への申請を決める。

2

根尾の石積み堰堤
(4号堰堤)

- ・幅約15m
- ・高さ約7m

直径30~130cm
の自然岩を積み上げて造られている



3

事業概要

- ★事業目的
歴史的財産である石積み堰堤への遊歩道を整備し、村内外の多くの方に堰堤の歴史的価値や村の魅力を発信し、後世に史跡を伝え残す。
- ★事業費 3,234,000円
(うち支援金額2,058,000円)
- ★事業内容
・根尾地区住民等との協働による延長900mの遊歩道を整備

4

- ・小中学校での学習に活用
(筑北中学校における砂防学習会、麻績小学校における社会科の授業、勉強会の開催)
- ・県建設部砂防課と共催によるシンポジウムに活用
(砂防遺産シンポジウムにて紹介、見学)

5

遊歩道の整備状況



6

歴史の道ふれあい遊歩道整備事業 (麻績村)

麻績小学校授業風景



7

事業の成果

- ・石積み堰堤見学者の増加。
- ・遊歩道の整備内容について、地元地区や地域団体の参画と協働により事業を実施。
- ・小、中学校との連携により、授業や学習会を実施し、郷土への愛着や誇りを高められた。
- ・地域団体との協働によるマップ整備に向け相互連携が図れた。

8

今後の課題

- ・石積み堰堤の歴史的価値をPRして、今後もより多くの方にこの地を訪れていただき、村の魅力を発信する。
- ・次世代を担う子どもたちに、地域への愛着や誇りがより高まるよう継続的なアプローチが必要。
- ・森林セラピーやトレッキングコースなどによる遊歩道の更なる活用。

9

おわりに

平成26年10月7日
根尾の石積み堰堤4基が国の登録有形文化財に登録されました。

ご清聴ありがとうございました。

10